

あなたの心得帖

災害の種類や状況によって避難する場所は異なります。
土砂災害、洪水、高潮、津波の避難について、早い段階での避難先と、逃げ遅れてしまったときの避難先を検討しておきましょう。

早い段階での避難先

雨・風が強くなる前、暗くなる前の早い段階で、安全な場所に避難することが大原則です。

早めの避難が必要なのはどんなとき？

- ◎事前に大型の台風や大雨が予想される場合
- ◎夜中に雨が降り続くと予想される場合
- ◎避難準備情報や避難勧告を聞いた場合
- ◎そのほかにもいつもと違うと感じた場合

例えばどんなところ？

- ◎災害の種類に応じた予定避難所
(P.35～P.36で確認)
- ◎親戚、友人宅など、市内に限らずより安全な場所

ハザードマップで確認し記入

避難先記入欄

(土砂災害、洪水、高潮、津波などの災害ごとに複数の避難先を考えておきましょう。)

逃げ遅れたときの避難先

逃げ遅れてしまったら、その場そのときの状況で最も安全と思われる場所で身を守りましょう。

逃げ遅れたときってどんなとき？

- ◎浸水の中を避難しなければならない場合
- ◎浸水や土砂、津波が迫ってきた場合

例えばどんなところ？

- ◎最寄りの高い建物や高い場所
- ◎自宅の高いところで斜面から離れた部屋
- ◎予定避難所に限らず、近くの安全なところ

ハザードマップで確認し記入

避難先記入欄

(土砂災害、洪水、高潮、津波などの災害ごとに複数の避難先を考えておきましょう。)

<この冊子を、ご家庭の分かりやすい場所に保管しておきましょう>

発行・編集 北九州市 危機管理室危機管理課、建設局河川部河川整備課 (平成 27 年 6 月発行)
監修 片田敏孝 (群馬大学大学院理工学府 教授・北九州市防災アドバイザー)
問い合わせ先 北九州市危機管理室危機管理課
〒803-8501 北九州市小倉北区内 1-1 TEL : (093)582-2110